



おがっさい



おあむちゃん

市民の誓い 私たちは水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います

油断せず 感染対策の継続を！～手洗い マスク 人との距離～

開館10周年記念セレモニー開かれる

奥の細道むすびの地記念館 ～来館者200万人達成も～



▲セレモニーのオープニングで踊りを披露する園児たち

平成24年4月のオープンから開館10周年を迎えた「奥の細道むすびの地記念館」で4月3日、記念セレモニーが開かれ、ゆりかご保育園の園児たちが踊りや俳句を披露したほか、本市出身の小説家 中村 航さんが「奥の細道むすびの地 大垣」交流大使に委嘱されました。

当日は、同記念館の周辺で「春の芭蕉祭」が開かれ、春の市民俳句まつりや交流都市



交流大使に委嘱された中村航さん(右)



来館者200万人達成のセレモニー

観光交流物産展、ステージイベントのほか、きもの園遊会や満開の桜を水門川から眺める舟下りなど、さまざまな催しが行われました。

また、3月26日には同記念館の来館者200万人を達成し、セレモニーではくす玉割りが行われ、200万人目とその前後の来館者に記念品が贈られました。

冬季五輪ノルディックスキー複合団体で銅メダル

永井秀昭 選手に「スイトピア章」贈呈

市は、北京2022オリンピック冬季競技大会のノルディックスキー複合団体で、銅メダルに輝いた本市在住の永井秀昭選手に「スイトピア章」を贈りました。

永井選手は3大会連続でオリンピックに出場し、北京大会では、後半距離の粘り強い走りで銅メダル獲得に貢献しました。



スイトピア章を受章した永井選手(中央)

この章は、文化・スポーツなどの各分野で功績のあった個人や団体を顕彰するもので、これまでに23の個人・団体に贈呈しています。

「臨時特別給付金」は期限内に申請を

コロナ禍の影響を受けている

- ▶住民税非課税世帯は 5月2日が申請期限
- ▶家計急変世帯は 9月30日が申請期限

コロナ禍における生活・暮らしの支援として、住民税非課税世帯などを対象に1世帯当たり10万円を支給する「臨時特別給付金」の申請を受け付けています。

住民税非課税世帯として支給対象になるのは、令和3年12月10日時点で大垣市に住民登録があり、世帯全員の令和3年度の住民税(均等割)が課税されていない世帯です。2月上旬に対象と思われる世帯に郵送した申請書類を提出していない場合は、5月2日(月)までに申請してください。

また、コロナ禍により令和3年1月以降の家計が急変し、世帯全員のそれぞれの1年間の収入見込額が、住民税(均等割)が非課税となる世帯と同様の事情にあると認められる世帯については、9月30日(金)が申請期限です。

詳しくは、市HPをご覧ください。詳しくは、市HPをご覧ください。詳しくは、市HPをご覧ください。



市HP

今号から広報おおがきの用紙を変更

今号から広報おおがきの用紙は、環境保全に配慮し、適切で持続可能な管理が行われている森林から産出された木質資源で作られた紙に変更しています。

4月15日号 主な内容

- ▶高齢者等「見守りシール」をご利用ください、市民アンケート調査、ごみ収集日の変更、リフォームした中古住宅で暮らそうなど …2～3P
- ▶大垣市第2次農業ビジョンを策定、募集の案内など …4～5P
- ▶講座のお知らせなど …6～7P
- ▶催しのお知らせ、市民伝言板など …8～9P
- ▶健康ガイド …10～11P
- ▶大垣まつり、花と緑のふれあい展など …12P

新型コロナウイルス

油断せず感染防止対策の継続と 早めのワクチン接種を



新型コロナウイルスの新規感染者数は、依然として高い水準が続いており、感染防止対策の徹底と継続が必要です。

ウイルスは私たちのすぐ身近に潜んでいます。引き続き、感染リスクが高まる場面を回避するなど、油断することなく、一人一人ができる対策の実施をお願いします。

- ①マスクの着用や手洗い、「密」の回避、こまめに窓を開けて換気を実施し、体調が悪い時は外出を控える
- ②混雑した場所や感染リスクが高い場所へ外出するときは、基本的な感染防止対策を継続
- ③普段会わない人との会食を回避し、大人数・長時間の飲食を避ける(会話時はマスク着用)
- ④重症化予防のため、早めのワクチン接種を検討

※本紙に掲載した写真は、撮影のためマスクを一時的にはずしています